

学校給食への異物混入の調査結果について

【発表の要旨】

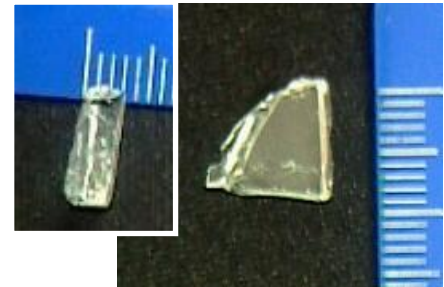
11月20日（水）に発生した学校給食へのガラス破片の混入原因の調査結果について報告します。

このほか、11月28日の記者懇談会発表以降の異物混入の状況も併せて報告します。

【発表の内容】

1 異物混入の調査結果

- (1) 発生年月日 平成25年11月20日（水）
- (2) 発生場所 市内小学校 1校
- (3) 混入物 ガラス破片（1辺約10mm、厚さ約3mm、形状は三角形）
- (4) 調査結果



ア 材質調査

異物の用途を特定するため、日本食品分析センター及び岩手県工業技術センターに異物の材質調査を依頼した。材質は「ソーダ石灰ガラス」というもので、窓ガラス、コップ、食品用保存容器などに広く用いられているものと判明したが、用途の特定はできなかった。

イ 食材

食材を製造した全ての業者に対し、食材への混入の可能性について調査を行ったが、異物混入の「可能性はない」又は「可能性は極めて低い」との回答であった。

ウ 調理過程

給食センター内にガラス製の機器、器具等があるか調査を行ったが、ガラス製の機器、器具等はなかった。自動ドアの窓、時計のカバーにも同様のガラスが使われていることから調査を行ったが、破損した個所はなかった。

また、市及び調理配送業務委託業者で2回にわたり、調理場内から出た残滓類を調査したが、ガラス破片はなかった。

エ 学校での配膳作業

当該小学校の教室内、校内で窓ガラスやガラス製品の破損個所がないことを確認しており、配膳作業中の混入の可能性は低い。

オ 食材の再調査

食材のうち最も混入の確率が高いと思われる食材の製造工場において、ガラス破片の現物を使用して、エックス線検査機による異物除去の再現テストを実施した。

27回実施した結果、6回目のテストでガラス破片が異物と検知されずに通過し、機器にも誤作動があることを確認した。

(5) 混入原因の特定

推測の域を出ないが、調査の結果からはどの調査でも異物混入の可能性が極めて低く、仮に食材が原因としても、これを調理過程で除去できなかったものと推測される。今後、混入原因を特定する新たな事実は出てこないと判断し、調査を終了する。

2 毛髪、虫等の混入状況（平成25年11月21日～26年2月12日）

混入月日	学校	混入物	混入原因
11月21日	中学校	白菜のみそ汁に毛髪	調理過程、学校、両方に混入の可能性
12月10日	小学校	チキンみそカツに毛髪	チキンみそカツの製造過程で混入
1月15日	中学校	ずんだパンの中に毛髪	パンの製造過程で混入
2月5日	中学校	コッペパンの中に毛髪	パンの製造過程で混入
2月6日	中学校	肉焼売の中に毛髪	肉焼売の製造過程で混入
2月7日	小学校	ご飯の中に毛髪	炊飯機械に作業員の毛髪が付着
2月7日	中学校	なめこ汁にキノコバエ	調理過程、学校、両方に混入の可能性
2月12日	小学校	フルーツパンに塗料付着	パンを置くコンテナの塗料が付着

※ いずれも、誤食、健康被害はありませんでした。

3 異物混入防止対策の取組

(1) 異物混入防止対策会議の開催

このたびの異物混入事故を受け、1月29日に、調理配送業務委託者、パン製造業務委託業者、食材納入業者、市内小中学校の各関係者に参集願い、異物混入防止対策会議を開催し、異物混入事故に対する危機意識を喚起し、それぞれの作業における安全管理の徹底策を再確認した。

(2) 調理配送業務委託業者との情報交換

異物混入防止対策を図るため、毎日の調理作業状況、施設設備や作業状況などについて、調理配送業務委託業者と定期的（月1回程度）に情報交換を行う。

(3) 調理配送業務委託業者での取組の重点事項

ア 食材からの異物除去は、重要な業務の一つであることを再認識し、これまで以上に目視確認の徹底を図る。

イ 調理業務に精通した職員を増員し、より安全安心な給食提供に努める。

ウ 調理場に不要なものを持ち込まないように、声掛けだけでなく総括責任者によるポケット内の検査を実施する。

担当	遠野市学校給食センター（沖館） 電話 0198-62-2032
----	------------------------------------